

とにもつながる地域へ

～かながわ県西圏域ナビだより～

5月25日の政府対策本部において、『新型コロナウイルス感染症の緊急事態解除宣言』がなされましたが、地域で暮らす当事者の皆さまからは、これまで通りの生活を送れず、不安や戸惑い、ストレスを抱えているという苦しみに溢れた声が数多く届いています。また、当事者・ご家族のセーフティネットとしての役割も担う事業所の皆さまからは、感染予防を徹底しながら、様々な対策・活動の自粛を余儀なくされている等の声をいただいています。

連日の報道の中で、一部の福祉事業所において集団感染が発生したとの情報が散見されています。そのような事業所が、危機を乗り越え再生に向かうことができたキーワードは『外部からの応援、物的・人的支援』でした。6月5日現在において、県内の中でも特に感染者発生率が高い県西圏域の状況に照らすと、万が一に備え、ネットワークを活かした助け合いのできる“つながり”を、改めて大切にしていきたいと考えています。

ご本人・ご家族の皆さまからの声を受けてわれわれ支援者は、これまで個別の課題から地域の課題を確認し、連携・協力のもと、解決に向けて取り組んでまいりました。ソーシャルディスタンスを保つことでそれが叶いづらい環境にあり、不安や戸惑い、情報の錯綜等から混乱する中においても、私たちが地域で暮らす当事者の皆さまのためにできることはないでしょうか。

様々な声を受けて、令和2年度、最初のかながわ県西圏域ナビ便りでは、『今、私たちができること』をテーマに情報発信していきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて『今、私たちができること』 ～小田原保健福祉事務所から～

神奈川県における緊急事態宣言の解除

5月25日に政府は、本県を含む8都道府県で延長されていた緊急事態宣言を解除しました。緊急事態宣言は解除されましたが、引き続き、皆様には、コロナウイルスは身近にあるという意識を持って、行動していただくようお願いいたします。

小田原保健福祉事務所管内（2市8町）の新型コロナウイルス感染者数の状況

当所管内では、3月6日の1例目の発生から始まり、6月4日現在までに80例の発生が確認されています。

第2波を招かないために

医療機関関係者だけでなく、私たち一人一人が、ハイリスク者（高齢者、基礎疾患保持者など）への感染を防ぐことが大切です。そのために、引き続き、生活に必要な場合を除く外出の自粛や、密集、密閉、密接を避ける行動（右図参照：人との接触を8割減らす、10のポイント）を、改めて意識していただくようお願いします。

事業所の皆様へ

緊急事態宣言を受け、やむなくサービス提供の縮小や自粛をされていたところや、学校の休校に伴い居場所確保のためにサービスの提供が増加したところなど、その状況は様々かと思えます。また、当事者、介護者や保護者、事業所の皆様が、感染への不安や恐怖、感染対策への苦慮、日常生活の制約等により、通常とは異なる多くのストレスをまだまだ感じていることと思います。皆様、よくご存じのことと思いますが、①セルフケアチェック、②リラックサ法を見つける、③相談先を見つけることが、こころの健康を保つポイントです。国立成育医療研究センターからは、大人や子ども向けのストレスへの対処法が紹介されています。

（<https://www.ncchd.go.jp/news/2020/20200410.html>）

また、神奈川県のホームページでは、新型コロナウイルス感染症について、様々な情報が掲載されていますので、参考にしてください。（<http://www.pref.kanagawa.jp/>）

神奈川県における新型コロナウイルス感染者数の状況

大型連休期間中において、県民、事業者の皆さんが外出自粛の徹底や休業要請などに御協力いただいたおかげで、減少傾向で推移していますが、油断はできません。街中や公共交通機関には、人出が増加してきています。ここで気を緩めると、新規感染者が再び急増する第2波を招く恐れがあります。

人との接触を8割減らす、10のポイント

緊急事態宣言中、誰もが感染するリスク、誰でも感染させるリスクがあります。新型コロナウイルス感染症から、あなたと身近な人の命を守るよう、日常生活を見直してみましょう。

1 ビデオ通話で
オンライン帰省

2 スーパーは1人
または少人数で
すいている時間に

3 ジョギングは
少人数で
公園はすいた時間、
場所を選ぶ

4 待てる買い物は
通販で

5 飲み会は
オンラインで

6 診療は遠隔診療
定期受診は間隔を調整

7 筋トレやヨガは
自宅で動画を活用

8 飲食は
持ち帰り、
宅配も

9 仕事は在宅勤務
通勤は医療・インフラ・
物流など社会機能維持
のために

10 会話は
マスクをつけて

3つの密を
避けましょう
1. 換気の悪い密閉空間
2. 多数が集まる密接場所
3. 間近で会話や発声をする密接場面

手洗い・
咳エチケット・
換気や、健康管理
も、同様に重要です。

感染リスクを防ぐための工夫やストレス軽減策について、県西ナビのネットワークを通じて皆さんで情報共有し、仲間として助け合うことが、今、私たちにできることではないでしょうか。

全国医療的ケア児者支援協議会による「消毒用アルコール綿」の無料配布について、ご協力頂いた皆さまありがとうございました。引き続き、同協議会からの「手指消毒液の無料提供」をご案内させていただきます。自治体や福祉施設の職員の方でもご応募可能となっておりますので、6月11日（木）18時までにお申し込み下さい。詳しくは、全国医療的ケア児者支援協議会（iryou-care.jp）までお問い合わせください。

各市町における障がい福祉事業所に対する感染対策物資の配布情報（6月1日 現在）

※次亜塩素酸水の有効性については現在、様々な報道がなされていますが、本記事は各市町が配布している状況をお知らせするものとしてご理解ください。
※状況により、内容が変更される場合がございます。詳しくは各市町へお問い合わせください。

市町	物資	配布方法 (日時・場所・持ち物等)	配布量	問い合わせ先	備 考
小田原市	マスク	神奈川県に配布希望を提出した事業所 日 時：物品が届き次第 場 所：障がい福祉課	要相談	小田原市障がい福祉課 0465-33-1469	事前に障がい福祉課に電話連絡が必要
	次亜塩素酸水	場 所：障がい福祉課で配布 持ち物：容器	1事業所 5ℓ/1回		
	手指消毒用 アルコール	日 時：7月以降の配布を検討中 場 所：障がい福祉課	検討中		
箱根町	次亜塩素酸水	日 時：平日9:00～15:00 場 所：役場本庁舎・さくら館・ 各出張所・社会教育センター 持ち物：プラスチック製容器	1人1日 500ml	福祉部保健健康課 さくら館 0460-85-0800	当面の間
真鶴町	次亜塩素酸水	日 時：平日9:00～16:00 (12:00～13:00除く) 場 所：役場庁舎 持ち物：500ml空のペットボトル	1人につき 500ml	健康福祉課 0465-68-1131	なくなり次第、終了
湯河原町	マスク	日 時：役場の開庁時間内 場 所：障がい福祉係 持ち物：特になし	要相談	社会福祉課 障がい福祉係 0465-63-2111	5月配布済
					6月配布予定 (県)
					たんぼほ作業所 400枚(小梅堂) 200枚(県)
					900枚
					笑っこ 50枚(小梅堂)
					200枚
					花菜 400枚(小梅堂) 200枚(県)
					100枚
					神奈川県ホーム ヘルプ協会・西湖 300枚(小梅堂) 200枚(県)
					300枚
					ハーバー湯河原 100枚
					※町内の合同会社小梅堂様から寄贈 ※寄贈があった場合に配布を行い、常時、配布は 行っておりません。

市町	物資	配布方法 (日時・場所・持ち物等)	配布量	問い合わせ先	備 考
南足柄市	マスク	神奈川県障害サービス課からのマスク配布 日 時：5/27(水)～ 8:30～17:00 場 所：南足柄市福祉課 対 象：市内障害福祉事業所 持ち物：受領書（県様式）		福祉課 0465-73-8047	・除菌効果があるとされています。 テーブルやドアノブなどの除菌に使用してください。 ・日光（紫外線）に当たると除菌効果が低下するため、 遮光性容器に入れるか、冷蔵庫で保管ください。 ※障害福祉事業所は福祉課までご相談ください。
	次亜塩素酸水	日 時：開庁日 10:00～16:00 場 所：南足柄市役所正面玄関 持ち物：容器	要相談		
中井町	マスク	日 時：開庁日 8:30～17:15 場 所：中井町保健福祉センター	要相談	福祉課 福祉班 0465-81-5548	要事前連絡 町内事業所に限る
	次亜塩素酸水	日 時：役場開庁日 8:30～17:15 場 所：中井町保健福祉センター 持ち物：きれいに洗った容器（ポリタンク等）	要相談		
大井町	手指消毒液	応相談	応相談	福祉課 0465-83-8024	町内事業所に必要に応じ配布
松田町	高齢者等 福祉タクシー	日 時：令和2年5月1日～ 令和2年6月30日 受 付：松田町役場福祉課福祉推進係窓口 他、FAX・電子メール 持ち物：健康保険証	チケット制 月8枚 最大16枚の 配布	松田町役場福祉課福祉推進係 TEL：0465-83-1226 FAX：0465-44-4685 電子メール：fukusi@town. mastuda.kanagawa.jp	対象者：松田町在住、75歳以上 または妊娠中の母子健康手帳をお持ちの方・ 出産後1年以内の方
	マスク	日 時：令和2年5月29日（金） 町内障害事業所に配布（済） 今後は希望があれば要相談	1,000枚	福祉課福祉推進係 0465-83-1226	
	次亜塩素酸水	日 時：役場開庁日 8:30～17:15 場 所：役場庁舎 持ち物：500mlの空容器	1人1日 500ml		
山北町	マスク	今後の配布は未定		総務防災課防災消防班 0465-75-3644	※町内障がい者施設に配布済み
	次亜塩素酸水	今後の配布はなし （除菌水の作り方の問い合わせは お受けします）		保健健康課健康づくり班 0465-75-0822	※町民等への無償配布済み
開成町	マスク	①4月3日(金)～4月8日(水) 町内障がい事業所に配布(済) ②5月25日(月) 町内障がい事業所に配布(済) 今後の配布は未定	①300枚 ②700枚	町民福祉部福祉介護課 0465-84-0316	
	次亜塩素酸水	4月16日(木) 町内障がい事業所に配布(済) 今後の配布は未定	20L		

コロナウイルス感染症関連情報

○厚生労働省「新型コロナウイルス感染症について」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
「＜「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント＞」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_coronanettyuu.html
○小田原市 HP：www.city.odawara.kanagawa.jp/emergency/coronavirus/

登録用QRコード

○藤田医科大学微生物学講座・感染症科：コロナウイルスってなんだろう？<http://www.fujita-hu.ac.jp/~microb/>
○日本赤十字：「感染症流行期にこころの健康を保つために～隔離や自宅待機により行動が制限されている方々へ～」
www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200330_006139.html
Onite 独立行政法人 製品評価技術基盤機構：「ご家庭にある洗剤を使って身近な物の消毒をしましょう」
<https://www.nite.go.jp/data/000109484.pdf>

事業所自主制作商品等の販売情報

各事業所において、開所時間の短縮・活動内容の変更・訪問販売先への制限など、様々な対策・自粛を余儀なくされている状況の中、作品の発表・販売の機会等、当事者の皆さまと地域とのつながりが希薄になりつつあるとの声をいただきました。そこで、県西圏域内の自主制作商品等の情報提供を頂いた事業所の販売状況をご紹介します。

※状況により、変更等がある場合がございます。お問い合わせは、各事業所をお願いいたします。

営業中 令和2年6月1日 現在

事業所名/電話番号	商品等	受付日時	販売方法	備 考
ありんこホームふしじみ 0465-46-9109 小田原市鶴宮3-6-11	・マスク 300円	平日 8:30～17:00	店頭販売 郵送可(送料別途)	
コスモス学園中沼ヶアセンター 0465-72-0880 南足柄市中沼831-1	・アクリルだわし ・雑巾 ・眼鏡チェーン	随 時	電話注文	
コスモス学園松田センター 0465-46-8511 松田町松田惣領824-1	・コースター ・雑巾 ・アクリルだわし ・ストラップ	随 時	電話注文	
KOMNYやまなみ工芸 0465-75-1450 山北町山北1430	・木工品	6 / 1～8 8:30～12:30 6 / 9～22 8:30～13:40 6 / 23～ 8:30～16:30	店頭販売	KOMNYとして、ネット販売も行っています。 komny.net/hanbai.html
第3ありんこホーム 0465-48-8269 小田原市鶴宮328	・マスク 300円 ・石けん(固形) 50円 ・粉せっけん 100円	平日 8:30～17:00	店頭販売 郵送可(送料別途)	
デイセンター永耕 0465-42-8889 小田原市永塚408	・パン	毎週水曜日 11:00～15:00 売り切り終了	店頭販売	デイセンター永耕内「ショップらほ」にて販売しています。
	・陶芸作品			陶芸作品については、受注販売も承っています。
パン工房ハッピー 0465-72-3033 南足柄市成原721-1	・パン ・焼き菓子 ・冷凍	平日9:00～15:00	・店頭販売 ・電話注文	
ほいんと・1 0463-71-8555 中郡二宮町二宮833-4	・有精餅 6個入り 270円	平日 13:00～17:00	店頭販売	

事業所名/電話番号	商品等	受付日時	販売方法	備 考
ほうあんのぞみ 「茶のまある」 0465-44-4326 小田原市本町2-4-12 ほうあん地域支援センター まある 1階	・チキンカレー ・ひき肉カレー	平日 10:30～15:00	店内飲食 テイクアウト	店 内 飲 食 510円 テイクアウト 560円
ふくらん 0465-74-0141 南足柄市福泉130-1	・洋菓子	10:00～17:30 定休日：毎週水曜日	店頭販売 デリバリー★	★デリバリー 【配達エリア】小田原市、南足柄市、開成町、松田町、大井町、山北町 【配達可能日時】平日 12時～16時 【配達条件】注文は事業所単位で、3000円以上から承ります。 ※販売品の内容など詳細については、店長の大貫さんにお問い合わせください。
よるべ沼代 0465-43-1147 小田原市沼代865-1	・有精餅 10個入り450円 送料 1386円	平日 9:00～15:00	施設販売(電話予約) 注文発送	

再開予定

事業所名/電話番号	商品等	受付日時	販売方法	備 考
アースエコー 0465-74-8823 南足柄市岩原1016-1	・リサイクル品 ・委託販売(衣類や雑貨品)	平日 10:00～15:00 (12:00～13:00昼休憩)	店頭販売	・コロナウィルス感染予防で営業休止していますが、営業再開したら宜しくお願いします。 ・会員になられた方が出品され、売上の一部が工賃に、一部が出品者に支払われます
コスモス学園中沼ジョブセンター 「café de sol」 0465-72-0880(ジョブセンター)	・日替わり弁当	随 時	電話注文	新型コロナウイルス感染防止のため休業中です。 7月前後を目途に再開を予定しています。 店舗：南足柄市和田河原582-3和田河原駅ビル1階 0465-46-8850

フリースペース おれんぢせえぶ

オンライン開催レポート

～ピアサポーターグループおれんぢせえぶ代表 小泉 智史さんインタビュー～

顔を見て対話することが難しい状況の中、心配、不安、ストレス…そんな時こそ、人と人の『つながり』は大切です。今は会えない相手とも顔を見ることで安心でき、場所を問わず気軽にコミュニケーションが取れる居場所はどのように作れるでしょうか。フリースペースおれんぢせえぶでは、Web 会議サービス「Zoom」を活用して、オンラインのフリースペースに取り組まれています。今回の取り組みについて、グループを代表して小泉さんへのインタビューを通してご紹介します。

おれんぢせえぶの紹介をお願いします。

おれんぢせえぶは、神奈川県西部のピアサポーター（当事者で助け合う仲間）が、こころの病や悩みを抱えている人の「いばしょ(=俺ん家)を守る(=セーフ)ため、立ち上げたフリースペースです」

当事者の居場所をつくり、誰でも自由に来て話せる場、どんな方でも、来た時に自分の居場所が見いだせるフリースペースです。
通常時は月 1 回、UMECO などの会議室で開催しています。



おれんぢせえぶさんの温かな雰囲気包まれながらホッとした時間を過ごさせてもらいました。新しい生活様式が呼びかけられている今、この機会に皆さんもオンラインツールを使ってみてはいかがでしょうか？

緊急事態宣言前からオンラインでの開催を検討されていたとのことですが、きっかけは？

おれんぢせえぶ発足当初から既にオンラインの開催は構想がありました。自分が家から出られない経験があり、外出して参加すること自体にハードルがありましたが、インターネットの交流を通じて回復した経験もあったので、その場所に行かなくても、その場を体験できないものかと考えていました。

普段の集まりとの違い、参加者の声はいかがでしたか？

「自分の部屋だからこそ、リラックスして、自分らしく参加できた」という声や、家にあるものを簡単に紹介したり、共有できるのは、オンラインならではのメリット。課題もあったが、挑戦したことで気づけたことも多かった。スタンダードなやり方をこれから作り上げていきたい。

今回は、普段の集まりには参加できない人の参加が多かったが、誰でも参加しやすくなるサポートをしていきたい。

今後の展望について教えてください！

第2回のオンラインでの開催も5/31に開催し、今後もオンラインの取り組みは、継続発展させていきたい。また、おれんぢせえぶの会報

オレンジ メガヘルツ ノー レイン ノー レインボー
「orangeMHz no rain no rainbow」
(雨がふらなければ、虹はできない、というハワイのことわざ)も発行しました。当事者がどんなふうに過ごしているか発信し、DJとリスナーのような情報交換、発信を目指していきたいです。
無理のない範囲で、ぼちぼちやれたら、と思っています。相互協力の中で続けられるような形を模索して、連携しやすいところが増えていけたらと思っています。
これからも、よろしくお願いします。
最新情報はぜひ、「おれんぢせえぶ」で検索してください！

令和2年度 県西圏域ナビの取り組みについて

障がいのある方もない方もその人らしく地域で暮らせるように、官民協働で地域課題のさらなる考察と課題解決に向けて、県西ナビとして取り組んで参ります。

相談支援ネットワーク ①すべての方に相談支援を届けるための量的充足の手段として、計画相談新規参入予定の事業所の開設支援、潜在資格者に対するフォローアップ、介護保険のケアマネジャーに対する参入促進、各事業所に合った経営モデルをイメージできる資料および機会の提供。②事業所間の情報共有と横の繋がりを深めるため、相談支援専門員のためのフリースペース設置。③医療的ケアの必要な方に対する福祉的観点の支援力（生活者視点）の充足に向けて、医療的ケア児等コーディネーター及び医療的ケア児等支援者同士の顔の見える関係の構築。以上の3つに取り組みます。

その他、報告になりますが、在宅で暮らす当事者の介護者が感染症に罹患し、入院等で不在となった場合、ご本人が過ごす場所や支援について不安があるとの多くの声を受け、圏域の課題として県及び市町に報告するとともに打開策を提案しました。結果として、神奈川県により「介護者がコロナ入院で不在となった在宅の高齢者・障がい者を受け入れる専用入所施設の設置事業」が構築されています。

サービス提供ネットワーク ①量の課題（事業所数及び従事者数の不足）解決に向けてサービス需要のさらなる可視化。従事者数不足の解消を目的とした「障がい福祉の普及啓発イベント“ふくしフェア”」の開催。②支援の質向上にむけて、サビ児管同士のつながりを目的とした連絡会や事例検討会等を通じた人材育成（ともに育ち合える地域JIT体制）。以上の2つに取り組みます。

地域移行・定着推進ネットワーク ①精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る課題解決に向けて、地域事業所同士が課題感について検討し、既存の協議体の取り組みを波及する連絡会を開催。②障がい児施設入所児童の地域移行に係る課題解決に向けて、地域全体の課題として検討できるよう、専門部会の設置も視野に入れた体制強化。以上の2つに取り組みます。

編集後記

『ソーシャルディスタンス』と聞くと人との交流を諦めがちですが、人との物理的な距離を保つことは、心を通わせる交流を妨げるものではありません（physical distance doesn't mean social distance）。私たち福祉職の仕事は、人と人とのつながりを軸に、支え合うことが原点であり、人のつながりは地域も豊かにします。このような時だからこそ、相互連携を大切に力を合わせませんか。県西ナビでは、相談支援専門員やサビ児管等の繋がりが途絶えることのないように、リモート会議等を通じて、活発な意見交換・情報交換を行っていきます。事業所内で抱え込まず、ネットワークを活用し、ともに支え合いましょう！